



シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I科目-13 心身の健康 と生命	20130586000101	●心身の健康 と生命I(人 体の構造と機 能)	和	E	嶋田 敏 生	1年,2年,3年,4年	後期	金 2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I科目-13 心身の健康 と生命	20130586000501	●心身の健康 と生命I(栄 養とは何か)	和	E	青柳 潔	1年,2年,3年,4年	後期	金 1	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I科目-13 心身の健康 と生命	20130586000901	●心身の健康 と生命I(遺 伝子と生命)	和	E	吉浦 孝 一郎	1年,2年,3年,4年	後期	木 1	～

[戻る](#)

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-13 心身の健康と生命**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130586000101	科目番号	05860001
授業科目名	●心身の健康と生命Ⅰ(人体の構造と機能)		
編集担当教員	嶋田 敏生		
授業担当教員名(科目責任者)	嶋田 敏生		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	嶋田 敏生, 蒔田 直昌, 松本 逸郎, 佐伯 和信		
科目分類	全学モジュールⅠ 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生(クラス等)	教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス	tshimada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部基礎棟3階、医歯薬学総合研究科分子生理		
担当教員TEL	095-819-7031		
担当教員オフィスアワー	金曜日 18:00~19:30 (あらかじめ嶋田まで電話してください)		
授業のねらい	日々の生活において、心と身体の健康は最も大切なものである。豊かな人生を送るためには、いかにして健康は維持されているのかを知らねばならない。この講義では、複雑な生命現象を理解するための基礎として、解剖学と生理学の立場から、ヒトの身体の構造とその機能を学ぶ。		
授業方法(学習指導法)	プリントとパワーポイントを用いた講義形式で行う。		
授業到達目標	人体の構造は機能を支え、機能は構造に影響を及ぼし、互いに深い関連がある。人体の構造と機能を学び、人体で日々営まれている精妙な生命現象を理解するための力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	ヒトは環境から独立しては生きられない。人体の成り立ちと恒常性/体温 (担当: 嶋田)	
	2	ヒトは栄養がなければ生きられない。消化・吸収と肝、胆、膵 (構造) (担当: 佐伯)	
	3	ヒトは栄養がなければ生きられない。消化・吸収と肝、胆、膵 (機能) (担当: 松本)	
	4	ヒトは酸素がなくとも死、炭酸ガスが多くても死。呼吸と血液 (構造) (担当: 佐伯)	
	5	ヒトは酸素がなくとも死、炭酸ガスが多くても死。呼吸と血液 (機能) (担当: 松本)	
	6	栄養と老廃物の運搬を支えるもの—循環 (構造) (担当: 佐伯)	
	7	栄養と老廃物の運搬を支えるもの—循環 (機能) (担当: 蒔田)	
	8	生命を脅かすものからの防御—自律神経、内分泌、免疫 (構造) (担当: 佐伯)	

	9	生命を脅かすものからの防御－自律神経、内分泌、免疫（機能）（担当：嶋田）
	10	生命誕生の不思議－生殖、発生、遺伝子（構造）（担当：佐伯）
	11	生命誕生の不思議－生殖、発生、遺伝子（機能）（担当：嶋田）
	12	ヒトは外部環境へ能動的に働くことができる－支持系と運動系（構造）（担当：佐伯）
	13	ヒトは外部環境へ能動的に働くことができる－支持系と運動系（機能）（担当：松本）
	14	人体を統合的に調節するバイオコンピューター－中枢神経、末梢神経（構造）（担当：佐伯）
	15	人体を統合的に調節するバイオコンピューター－中枢神経、末梢神経（機能）（担当：嶋田）
	16	
キーワード	人体の構造、生命の維持・調節、運動システム、生理学、解剖学	
教科書・教材・参考書	ナーシング・グラフィカ 解剖生理 メディカ出版、系統看護学講座 解剖生理 医学書院、ヒューマン・バイオロジー 人体と生命 医学書院	
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況、授業中の小テストで評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	本科目が含まれるモジュールIでは、生命現象の基本事項を学ぶ。モジュールIIでは、それを基本として生命や健康に関連した事項をさらに深く学ぶ。	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-13 心身の健康と生命**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130586000501	科目番号	05860005
授業科目名	●心身の健康と生命Ⅰ(栄養とは何か)		
編集担当教員	青柳 潔		
授業担当教員名(科目責任者)	青柳 潔		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	青柳 潔, 高島 美和, 篠崎 彰子, 有馬 和彦		
科目分類	全学モジュールⅠ 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kiyoshi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部公衆衛生学		
担当教員TEL	095-819-7067		
担当教員オフィスアワー	12:00-13:00		
授業のねらい	健康増進のための栄養の重要性を理解する		
授業方法（学習指導法）	講義 アクティブラーニング		
授業到達目標	健康的な食事を実践できる		
授業内容	1 ガイダンス 学習目標と方法 2 栄養所要量 3 エネルギー 4 脂質、タンパク 5 ミネラル 6 ビタミン、食物繊維 7 特定用途食品 8 食品の衛生 9 国民の栄養状況 1 10 国民の栄養状況 2 11 グループ学習 健康的食事・発表 12 グループ学習 健康的食事・発表 13 グループ学習 健康的食事・発表 14 グループ学習 健康的食事・発表 15 全体討論		
キーワード	栄養、健康		
教科書・教材・参考書	適宜プリント等を配布する		
	出席点 20 発表点 20		

成績評価の方法・基準等	課題レポート点 30 期末試験 30
受講要件（履修条件）	なし
本科目の位置づけ	健康獲得
学習・教育目標	栄養学の基礎を理解し、健康を理解する
備考（URL）	
備考（準備学習等）	授業内容の予習



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-13 心身の健康と生命**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130586000901	科目番号	05860009
授業科目名	●心身の健康と生命Ⅰ（遺伝子と生命）		
編集担当教員	吉浦 孝一郎		
授業担当教員名(科目責任者)	吉浦 孝一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉浦 孝一郎, 木下 晃, 井原 誠, 浦田 芳重		
科目分類	全学モジュールⅠ 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）	受講可能なすべての学生		
担当教員Eメールアドレス	kyoshi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	大学院医歯薬学総合研究科人類遺伝学（医学部原研遺伝）		
担当教員TEL	095-819-7118		
担当教員オフィスアワー	火・木・金曜 13:00 ~ 17:00		
授業のねらい	DNA, 遺伝子から細胞を形作るタンパク質などの分子について講義する。遺伝子のはたらくことによって達成されるタンパク質や脂質, 糖質の役割にふれ、最終的には、生物を形作る基本単位である細胞の構造および機能を分子レベルで理解する。発展的なモジュール受講のための基礎となる基本事項の習得をめざす。		
授業方法（学習指導法）	講義形式ですすめる。初回から、高校までに学習する内容も含め基本的な内容から講義する。高校生で生物学を履修していない者も理解可能な講義とする。担当教員は、4人で分担しそれぞれの教員の専門分野を講義する。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 細胞の構造を説明できる</li> <li>② 細胞内構造物の機能を説明できる</li> <li>③ 細胞の設計図である遺伝子の構造と機能を説明できる。</li> <li>④ 遺伝子からタンパク、脂質、糖質への情報伝達を含めて細胞の働きを概説できる</li> </ol>		
授業内容	第1回（10月3日）：吉浦：細胞の構造と機能(1) 第2回（10月10日）：吉浦：細胞の構造と機能(2) 第3回（10月17日）：吉浦：遺伝子の構造と機能 第4回（10月24日）：木下：転写と翻訳 第5回（10月31日）：井原：タンパク質の化学 第6回（11月7日）：浦田：糖質の化学 第7回（11月14日）：吉浦：遺伝のはなし 第8回（11月21日）：吉浦：遺伝の問題点 第9回（11月28日）：木下：細胞のはなし（1） 第10回（12月5日）：木下：細胞のはなし（2） 第11回（12月12日）：井原：生命の起源 第12回（12月19日）：井原：放射線のはなし 第13回（12月26日）：浦田：葉緑体のはなし 第14回（1月9日）：浦田：ミトコンドリアのはなし		

	第15回（1月16日）：吉浦/木下/井原/浦田：まとめ、および総合討論（試験を含む）
キーワード	生物, 遺伝, DNA, 社会, ゲノム
教科書・教材・参考書	特になし。興味がある学生は, BLUE BACKS 「アメリカ版大学生物学の教科書」で勉強するとよい。
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み状況（30 %） 課題レポート・試験等による評価（70 %）
受講要件（履修条件）	特になし。 受講可能な全ての学部・学生が対象
本科目の位置づけ	発展モジュール学習のための基礎生物学
学習・教育目標	知識を有機的に連結し, 自分の頭で考えられる。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	特になし。 最近の生物学の話題で講義して欲しいこと, 疑問に思っていることを考えておく。

